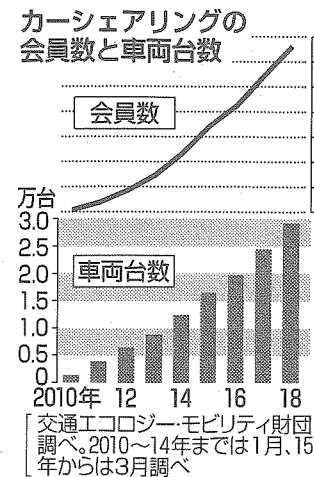


手軽に車を共有できるサービス「カーシェアリング」の利用者が増えている。民泊と並ぶ「シェアリングエコノミー」（共有型経済）の代表格で、維持費の高さから車を持たない都市部の住民を中心に人気だ。最大手が「新たな公共交通」として普及に取り組み一方で、自動車メーカーも試乗体験や走行データの取得などを

狙い事業に参入している。カーシェアはレンタカーとは異なり、スマートフォン



交通エコロミー・モビリティ財団によると、2018年3月時点のカーシェアの会員数は約132万人、車両は約2万9千台。一方、自動車メーカーは、トヨタ自動車

業で増やし、車両は鉄道駅の周辺などを中心に2万台以上を配備する。目指すは「鉄道とバス、タクシーに次ぐ公共交通」だ。

### 学内

テスラコースで安全性能を体感する  
(写真は散水路での試験走行)

水谷伸彦理事は「今後のコースの新しい使用方法を」とし、体感型授業の欲を示している。

### 債務整理を弁護士に一任

イタリア料理店 展開のル・クール

帝国データバンク名古屋支店によると、イタリア料理店

### ガソリン 152円10銭、高止まり

経済産業省資源エネルギー庁が15日発表した13日時点のレギュラーガソリン1リットル当たりの全国平均小売価格は、6日時点の前回調査から横ばいの152円10銭だった。150円超えは12週連続で高止まりが続いている。夏休みなど行楽シーズン中の家計にとっては打撃となりそうだ。

昨年8月に1リットル当たり131円台だったガソリン価格が20円以上値上がりした

# ものづくり補助金

## 2次公募・採択のコツ

中小・小規模企業の設備投資を促す「ものづくり・商業サービス経営力向上支援補助金（通称ものづくり補助金）」。本年2次公募が3日にスタートしました。公募期間は9月10日までです。本稿では、6月29日に明らかになった1次公募の採択結果から見られる動向や申請のポイント、経営指標との関わりについて、2回にわたって解説します。

ものづくり補助金は新商品・サービスの開発に必要な設備投資を上限1千万円まで

=上=

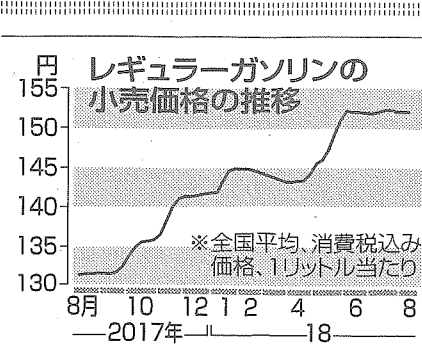
## 大幅にハードル下がる

で支援するもので、所管する経済産業省中小企業庁の気配は、2次公募は来年1月末と定められていること。今回の1次公募における申請者は前年度比11%増の1万7275件でした。中小企業の固定資産税を減免する生産性向上特別措置法による先端設備導入計画の認定を取得し

### 1次公募採択件数 55%増、9518件に

た企業に対し、補助率を引き上げる措置を採用したこと、さらに関心が高まりました。全国各地の自治体が、新事業展開に関する設備投資減税と引き換えにものづくり補助金、言わば地元企業の設備投資意欲を後押しした結果であるともいえます。

一方で、課題も出てきてい



小規模企業の申請には採

給不安への懸念があることがあ

### アタックス税理士法人

背景には、国感